

2015年6月2日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の治安情報第29号

フラメンゴ地区で邦人被害の強盗事件が発生

本日2日（火）午前8時頃、フラメンゴ地区、当館近くのバス停で邦人女性が被害者となるけん銃使用の強盗事件が発生しました。

1. 発生日時

6月2日（火）午前8時00分頃

2. 場所

リオ市フラメンゴ地区、プライア・ド・フラメンゴ通り
レストラン、「Alcaparra」前バス停留所

3. 状況

- (1) 邦人女性が上記バス停留所（屋根付き）に到着したところ、自転車に乗った年齢20代位の男性が近づいてくると、Tシャツの中からけん銃のようなものを見せ「携帯を渡すよう要求。
- (2) 邦人女性がカバンから携帯電話（スマートフォン・ソニー製）を手渡すと、そのまま自転車でポタフォゴ地区方面に逃走。
- (3) 邦人女性の前にバス停留所内にいたブラジル人女性も、同様の被害に遭った模様。

【当館から】

- ・ 発生場所は、領事館からセントロ方面に約100メートルの地点に位置する市バスの停留所で、発生当時、付近は通勤時間帯で人通りも多い状況でした。
- ・ 本件について、軍警察観光部隊及び管轄する第二軍警察本部に対して、周辺のパトロールと駐留警戒の強化を依頼するとともに、同事件に対する適切な捜査も重ねて依頼しています。
- ・ 最近、リオ市内で発生している強盗事件では、特にナイフ、けん銃などの凶器が使用される傾向にあるほか、各地で強盗に抵抗するなどして怪我を負う又は死亡するケースが多発しています。
- ・ 外出する際は多額の現金は持ち歩かず、華美な服装を避けるようにしましょう。
- ・ 万が一強盗に遭ってしまった場合は、決して抵抗せず犯人の要求に従って下さい。